布野小　探究的な学習

令和８年10月

～未来につなげ！布野の魅力①～（６年）

①昨年度は、布野の良さを知ってもらうために「ふるさと弁当」を開発しようとした。しかし、試作段階で終わってしまった。他にできることがあるのでは？

課題との出会い



【課題の設定】　布野の魅力を伝える方法を考えて、より多くの人に布野を広めよう！

⑪アンケート調査をしたら２つのメニューにしぼれそう。まつりを盛り上げ、布野を広められるメニューを決定しよう。



まとめ・表現

⑩屋台メニュー開発
丼・うどん・巻きずし・ベビーカステラ、地域の方はどんな屋台があったらいいと思っているかメニューをアンケート調査してみよう!



②布野には、アスパラガス、イチゴ、リンゴ等特産品がたくさんあるよ。

情報収集



道の駅ゆめランド布野で開催されるまつりで屋台を出店。より多くの方に喜ばれ、布野を広めるためのメニューづくり、価格設定、宣伝方法、接客等について考える。そして、オーナーとして屋台を出店する。

③何がやりたい？
・ぎんなんの活用
・インスタの開設
・企業とコラボ

④チーム結成！
・アナウンスチーム
・開発チーム
・越境チーム

⑤―１越境チーム
布野と言ったらアスパラガス。丸山農園さんに協力依頼をしてみよう。

整理・分析



⑤―２越境チーム
丸山農園さんに規格外のアスパラを提供していただくことを依頼。

情報収集



⑥―１アナウンスチーム
インスタを開設したいことを校長先生にプレゼン。→教育委員会に確認する必要があることを教えてもらう。

情報収集



⑥―２アナウンスチーム
教育委員会の課長さんに直接プレゼン。→個人情報の関係で学校で開設することは難しい。観光協会等への依頼についてアドバイスをいただく。

整理・分析



⑦―１開発チーム
校庭のぎんなんの殻を使って、何か作れないか考えてみよう。ぎんなんレシピも作って配布するのはどう？

整理・分析



⑧各チームの経過報告。もう一度目的を確認しよう。布野を広めるために必要なことは？



道の駅の社長さん「レストランメニュー」となると必ずできるとは言えないが、屋台であれば実現可能ですよ。



学校運営協議会
委員さんから「布野音頭があれば盛り上がるのでは」という意見が出た。なるほど、音頭ってどんなもの？



⑨レストランメニューを開発したい気持ちは強いけど、布野を広めるためには、まずは実現できることを考えないと。もう一度、内容を見直そう！





